

自己紹介

遠藤 浩昭 (endo_hiroaki@glocal-kumamoto.org)

- 2023年2月から、JICAより出向で 熊本県庁（国際政策相談役）と 熊本県立大学（国際教育交流センター 特任教授）に
- JICAでは、主に 自然環境分野（生物多様性、森林資源管理）の部署を歴任。ブラジル、パナマ、ウルグアイ、モザンビークでの海外経験、仙台、帯広、那覇での国内経験



熊本県の現状と課題

連携協定(2019年10月～)



熊本県・JICA連携協定の趣旨： 国際協力に関する協力関係の推進 及び 県の振興のための国際協力経験の還元

3つの取り組み課題

1. 外国人材の活躍・多文化共生

3. 官民連携・民間連携

様々な地域の関係者との協働

2. グローカル/グローバル人材の育成

外国人材受入れ及び多文化共生に対するJICA支援活動の3本柱

- (1) 送出国・日本の経済成長への人材育成
- (2) 移住労働者の人権尊重
- (3) 外国人材との共生社会構築

県内外国人数は、過去最高(伸率は全国6位)

2030年に熊本県の人手不足は6.5万人(推計)

- 県内在留外国人は、2024年6月末時点で27,407人と過去最高を更新(全国第6位の伸び率)
- 一方、地元での就職率の低下、東京への再流出、外国人材の在留継続希望の低さから、2030年に熊本県は6.5万人(推計)の人手不足
- 「多文化共生の推進」と「外国人材の受入環境整備」が喫緊の課題
- 熊本県「外国人材との共生推進本部」を設置

民間ベースの取り組み支援

外国人材の活躍・多文化共生

- ① 「選ばれる熊本」を目指す企業、団体等をメンバーとする任意団体「KUMAMOTO KURASU」の設立
- ② 地域と外国人を繋ぐ多文化共生ネットワークの創生
- ③ 外部資金を活用した外国人介護人材サポート事業

KUMAMOTO KURASU (KK) とは

続け

選ばれる熊本

KKの機能:

情報交換・議論・提言

分野/国籍横断・官民・地域と外国人を繋ぐ多文化共生ネットワークの創生
換・議論・提言の場づく

コラボレーション支援

会員同士の「できる・外部資金を活用した外国人介護人材サポート事業」
ぎ、新たな取り組み支援

次世代を担う産業人づくり

「選ばれる熊本」づくりが
人材の育成の場を創出

県外とのネットワーキング

県外・国外の優れたパートナーが持つ情報・支援を熊本に繋ぐ

「選ばれる熊本」のため、外国人材の適切な受入れ、労働・生活環境の改善、多文化共生社会の実現を目指す任意団体

Kumamoto Kurasu:

産業界

支援・監理団体

教育機関

外国人コミュニティ

NPO

メディア

自治体・行政機関

事務局 (JICA
熊本チーム)

KKの成果:

- ・官民協働による多文化共生社会構築
- ・外国人材を適切に受け入れる企業増加
- ・外国人と地域コミュニティの交流活発化
- ・熊本で働き続ける外国人増加

外国人実態調査:
県内外国人労働者を対象
に大規模実態調査
(パイロット事業)

熊本県「外国人材との
共生推進本部」



第1回KKシンポジウムで
木村県知事によるご挨拶
(2024年11月)